

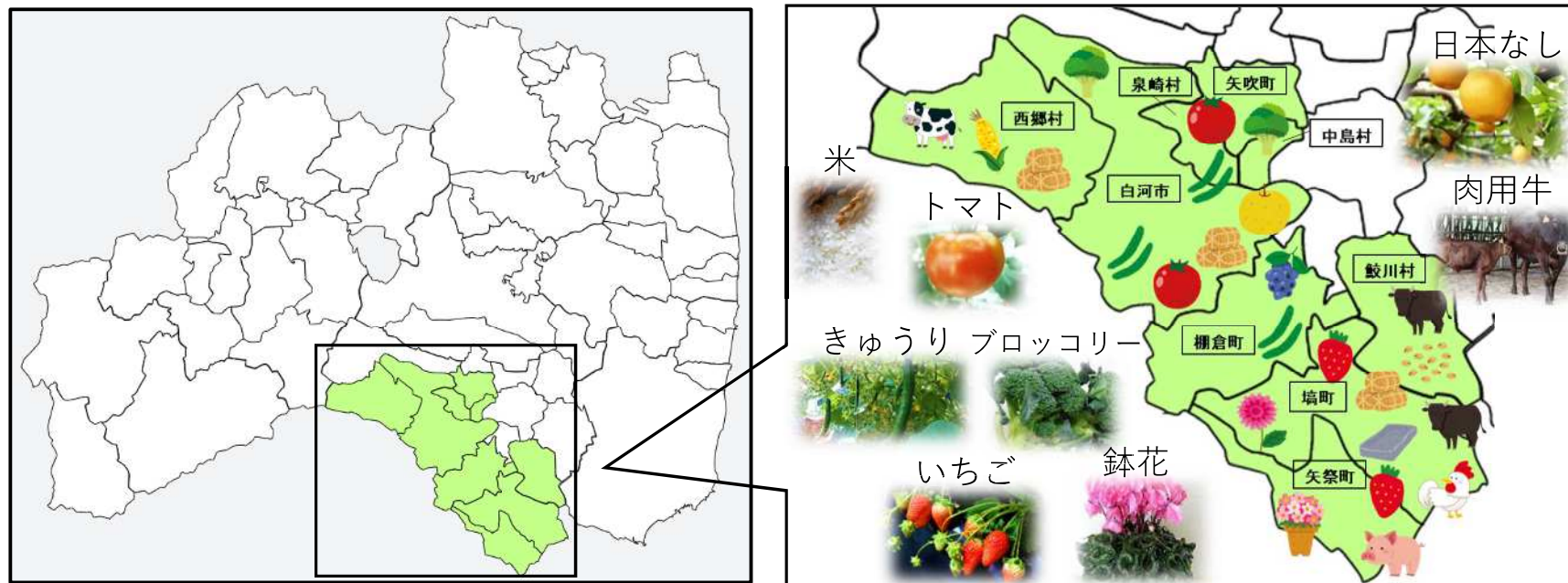
# 県南地域の農業を支える多様な担い手の育成 (未来を担うひとづくり)

県南農林事務所 農業振興普及部

令和8年2月6日

# 1. 背景・ねらい

## 県南地域の概況



○ 9市町村、2J A (J A 夢みなみ、J A 東西しらかわ)

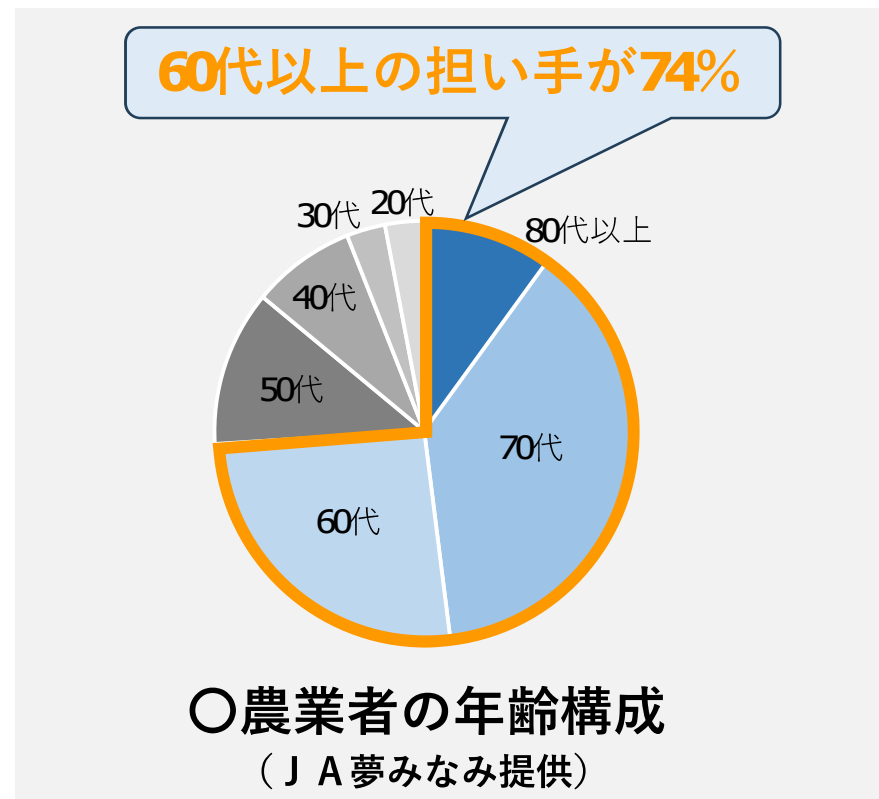
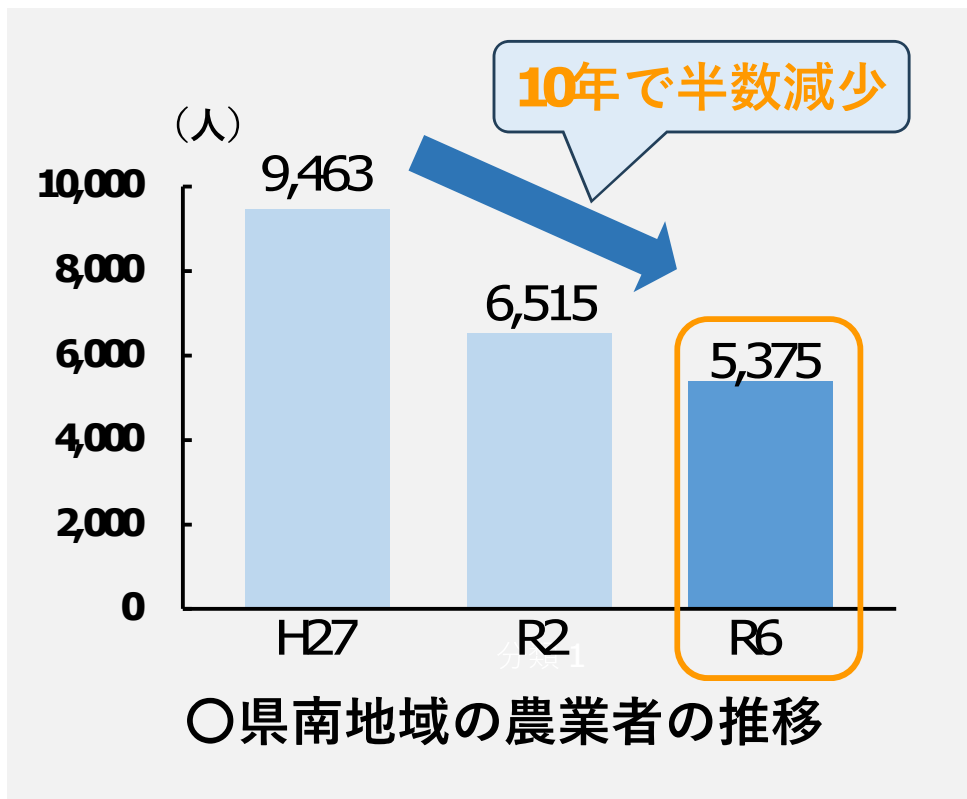
○ 水稲を中心にトマトやキュウリ、ブロッコリー等の主要産地

○ 農地面積**15,991ha**(県の12%)、農家数**5,375戸**(県の13%)

# 1. 背景・ねらい



## 県南地域の農業者



**農業者の減少**

担い手の高齢化

**産地の崩壊**

食料安全保障の危機

**地域の衰退**

地域社会の消滅

# 1. 背景・ねらい



## 担い手不足の対応策

現状

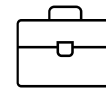
- 農地集約：大規模化
- 施設化：単収向上
- 省力化：スマート農業



技術だけでは限界

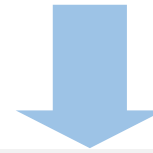
課題

- 新規就農者の確保
- 産地を担う農家の育成



## 取組の実態

- 関係機関：個々に役割を持って活動
- 人員：担当職員数も減少



個別対応では限界

- 効果的な仕組みづくり
- 担い手確保の一体的な支援



ねらい

県南地域の発展にみんなが協力



関係機関がワンチーム → 効果的な就農支援活動への展開

# 1. 背景・ねらい



## 普及指導計画の活動内容



### 新規就農者の確保・育成

- 就農相談会、個別相談の実施
- 就農支援体制の構築
- 新規就農者への営農計画作成支援  
(認定新規就農者の確保)



### 認定農業者の確保・育成

- 経営の安定・発展のための営農計画作成支援

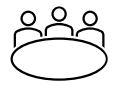


### 農業法人の確保・育成

- 他産業からの農業参入支援
- 経営の安定・発展を目的とした法人化支援
- 経営相談

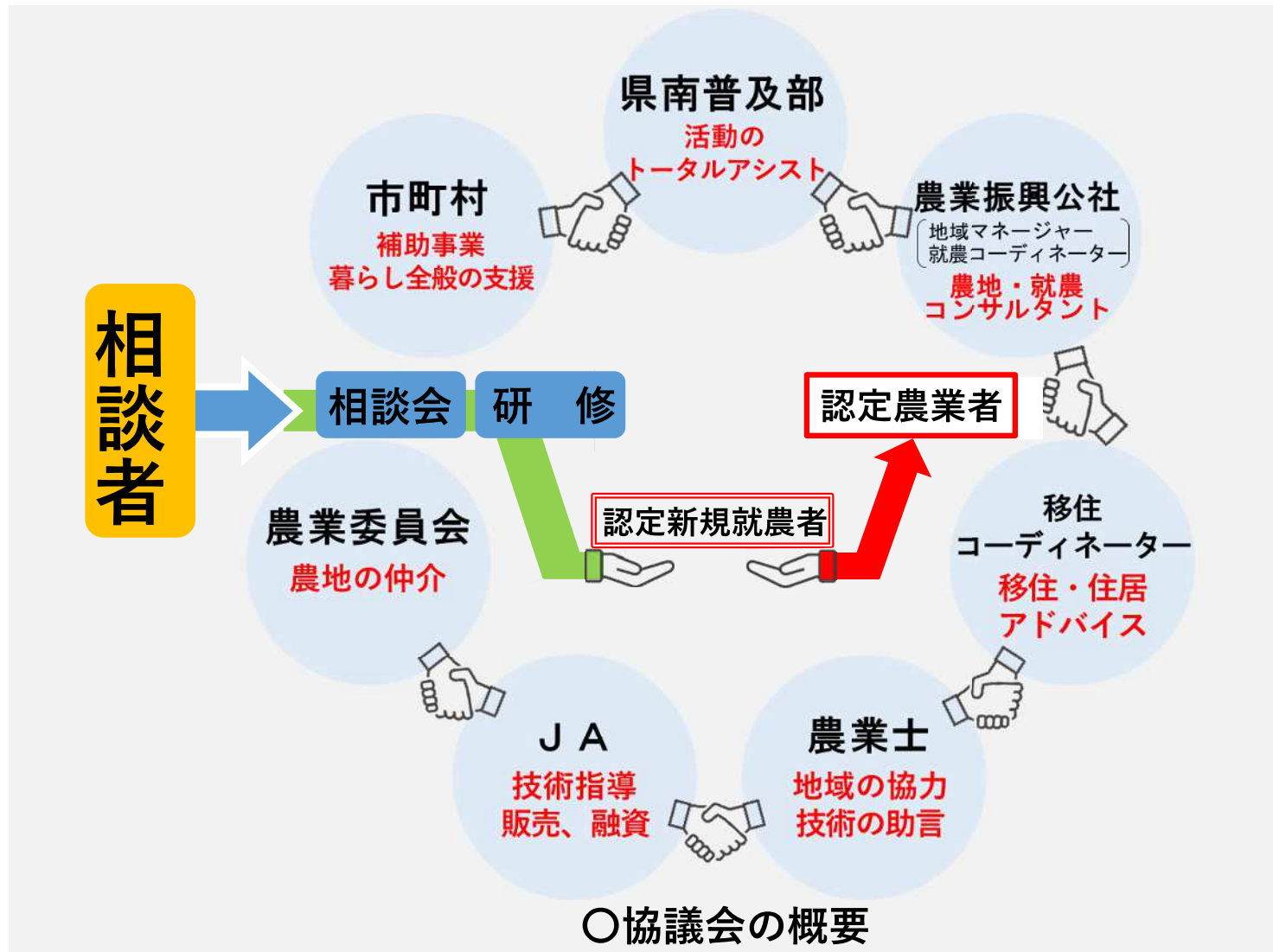


## 2. 活動内容（就農支援の体制づくり）



### 県南地域新規就農者等担い手確保・育成連携協議会を設置

(R4~)



## 2. 活動内容（就農支援の体制づくり）

### 協議会の活動内容

①情報共有、課題・支援策の検討

②認定研修機関の整備

③新規就農者への「サポート活動」

④就農支援先進地への研修



○連携会議（年2回）



○R6先進地視察研修（栃木県さくら市）

## 2. 活動内容（地元学生への活動①）

### フレッシュ農業講座（修明高校）

○農業高校生に農業の魅力や実情を伝え、就農意欲を醸成



○水耕栽培農家との対話



○農業短期大学校（研修機関）の紹介

#### < 高校生の感想 >

- 農業は大変だけど、とても魅力的！
- 農業をしたいという気持ちが強くなった！
- みんなを笑顔する農家になりたい！

#### < R7アンケート結果(n = 19) >

- 「短大に進学しなくなった」 ⇒ 9名
- 「就農してみたくなった」 ⇒ 1名

## 2. 活動内容（地元学生への活動②）



### 県南地域「学生向け就農相談会」



農業高校生、農業短大生を対象に「農業法人とのマッチング」  
「就農に向けたアドバイス」を行う。



< 出展団体 >

○ 県内市町村

○ J A

○ 農業法人

○ 農業経営・就農支援センター

実施年度	出展団体数	参加学生数
令和5年度	21 団体	125 人
令和6年度	17 団体	98 人
令和7年度	16 団体	95 人

**R7：県南地域の農業法人へ3名が雇用就農！**

## 2. 活動内容（情報発信）

### 県内外の幅広い層に向けた情報発信

積極的なPR活動



就農フェア(東京)への出展



体験ツアー開催(白河市主催)

- 県内外で
- 様々な機会
- 幅広い層へ

呼びかけ

**県南地域**  
**農業の魅力**

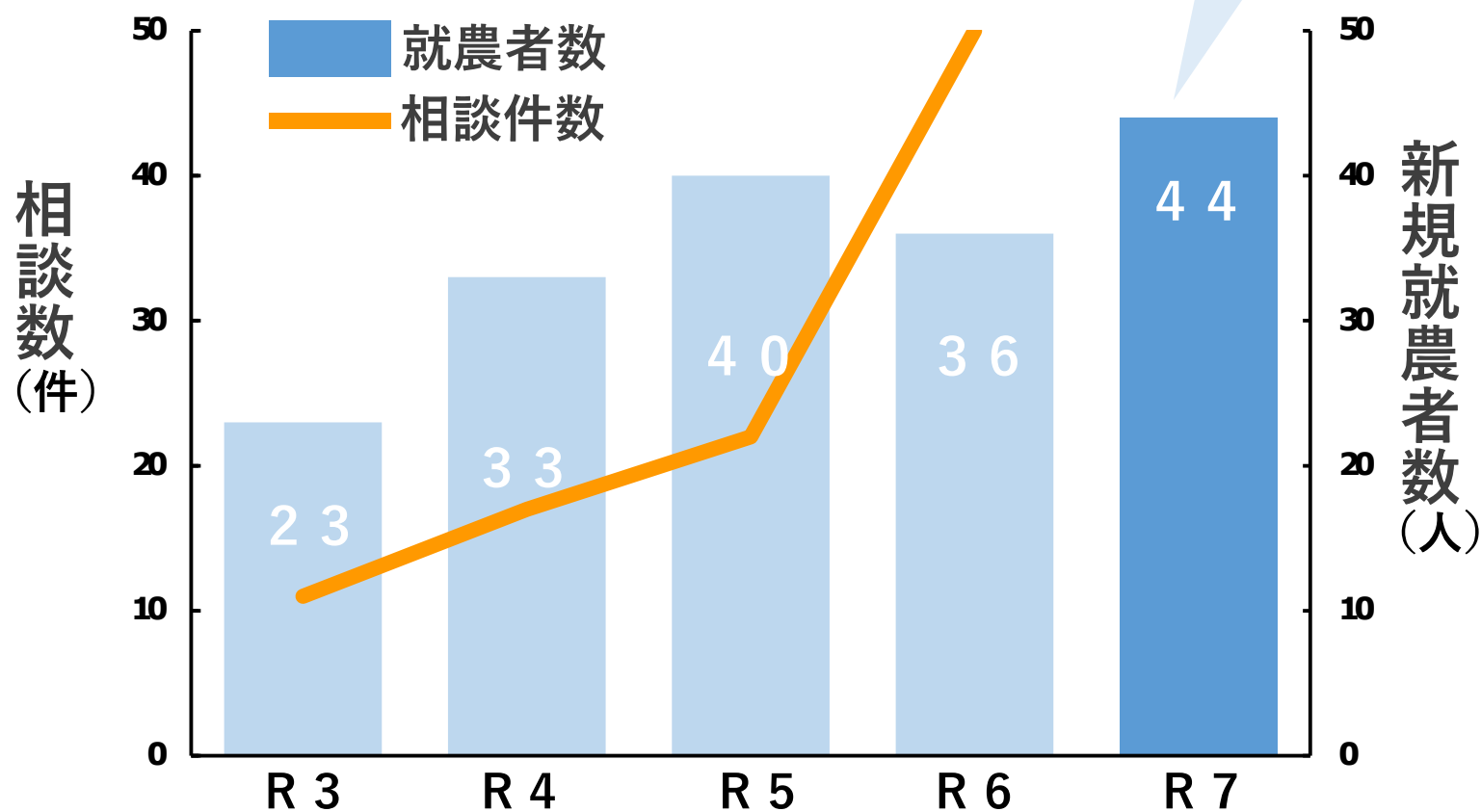
**就農**  
の  
**きっかけ**



## 2. 活動内容（就農者数、相談件数）



### 相談数、新規就農者数の増加



○就農相談と新規就農者の推移

## 2. 活動内容（研修サポート）

### 👉 研修から就農までの手厚いサポート

研修先の紹介



相談者

認定研修機関農家への視察



相談者

相談者

農業短期大学校(研修機関)との相談

研修へのサポート

研修から就農に向けて全力でサポートします！

安心！  
ユズの研修  
頑張ります！



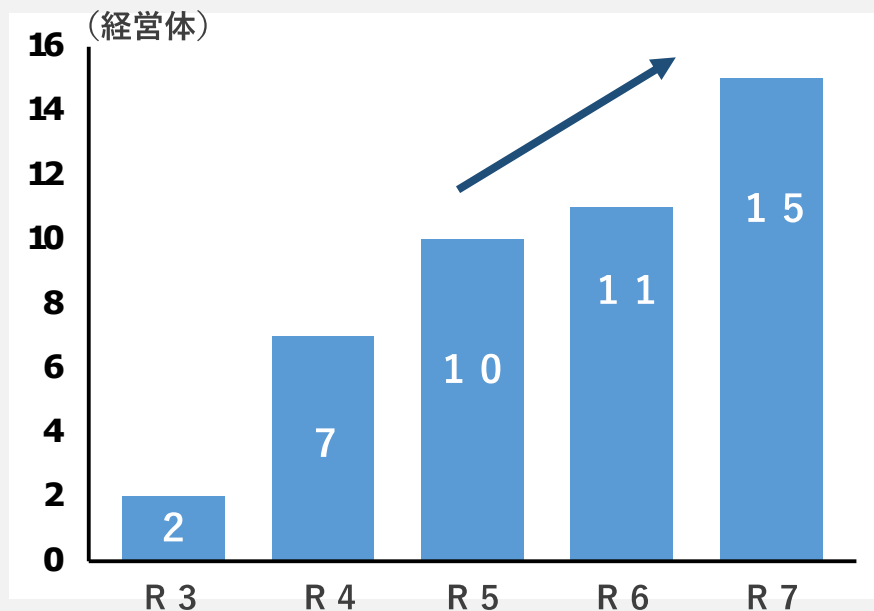
就農コーディネーター

研修生

## 2. 活動内容（認定研修機関）



### 認定研修機関の認定数が増加



#### ○認定研修機関数の推移



### 各JAに広域の研修機関が設立

⇒ JAごとに地域一体となった研修から就農までの一貫した支援体制が確立

認定年	機関名	品目
R 3	株式会社吉野家ファーム福島	水稲、白菜、キャベツ、ネギ、タマネギ
R 3	ガンバ農園	アスパラガス
R 4	株式会社自宇	ナシ
R 4	株式会社トロピカルトマト	夏秋トマト、高糖度トマト
R 4	有限会社そらの社	いちご
R 4	有限会社でんぱた	水稲、ブルーベリー、ウメ、ゆず
R 4	株式会社ベルファーム	肥育牛、繁殖牛
R 5	有限会社深花園	ユリ
R 5	株式会社山市農産	葉物野菜、キャベツ、タマネギ
R 5	株式会社JA東西しらかわグリーンファーム	和牛繁殖
R 6	株式会社恵美寿	きゅうり、いちご、水稲
R 7	株式会社梨の木	ナシ
R 7	矢祭鉢物研究会	鉢花
R 7	JA夢みなみしらかわそさい部会	トマト
R 7	JA東西しらかわいちご専門部会	いちご

#### ○県南地域の認定研修機関

## 2. 活動内容（就農支援）



### 就農後の「サポート活動」

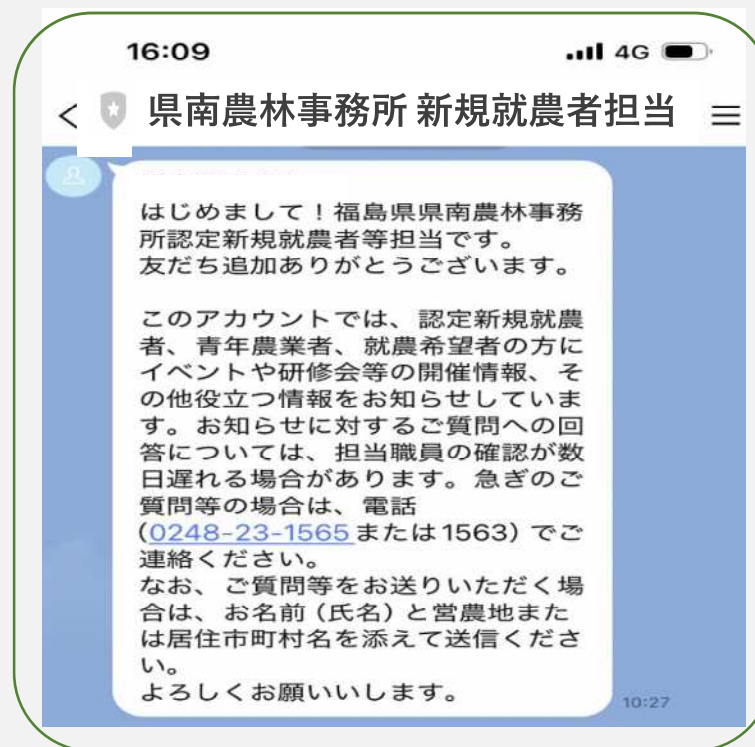
#### ① サポートチーム活動



- ・市町村、JA、普及部が「ワンチーム」になり、営農計画実現に向けた課題の共有、アドバイス、総合的な支援を提案

**R7：38回実施！ + 個別巡回**

#### ② 新規就農者連絡サイトの開設



新規就農者 ↔ 普及部

新規就農者への連絡、相談対応がスムーズになった

## 2. 活動内容（仲間づくり）

### 新規就農者 × 農業士交流会（R5～）

- 「新規就農者」と
- ・「新規就農者」
  - ・「農業士」
  - ・「市町村」
  - ・「JA」
  - ・「県南普及部」
- をつなぐ。



○農業士とのグループワーク  
【テーマ：経営分析】



○指導農業士による現地研修（西郷村）

## 2. 活動内容（営農計画作成支援）



### 営農計画（5カ年）作成をサポート



#### 個別カウンセリングの実施

- 相談者の将来像に応じた計画作成の支援  
→経営発展を後押し



#### 各種支援制度の活用促進

- 補助金・制度資金・農地の集積を一体的に支援



#### 計画の認定

- 営農計画を市町村が認定→各種支援制度の活用が可能に

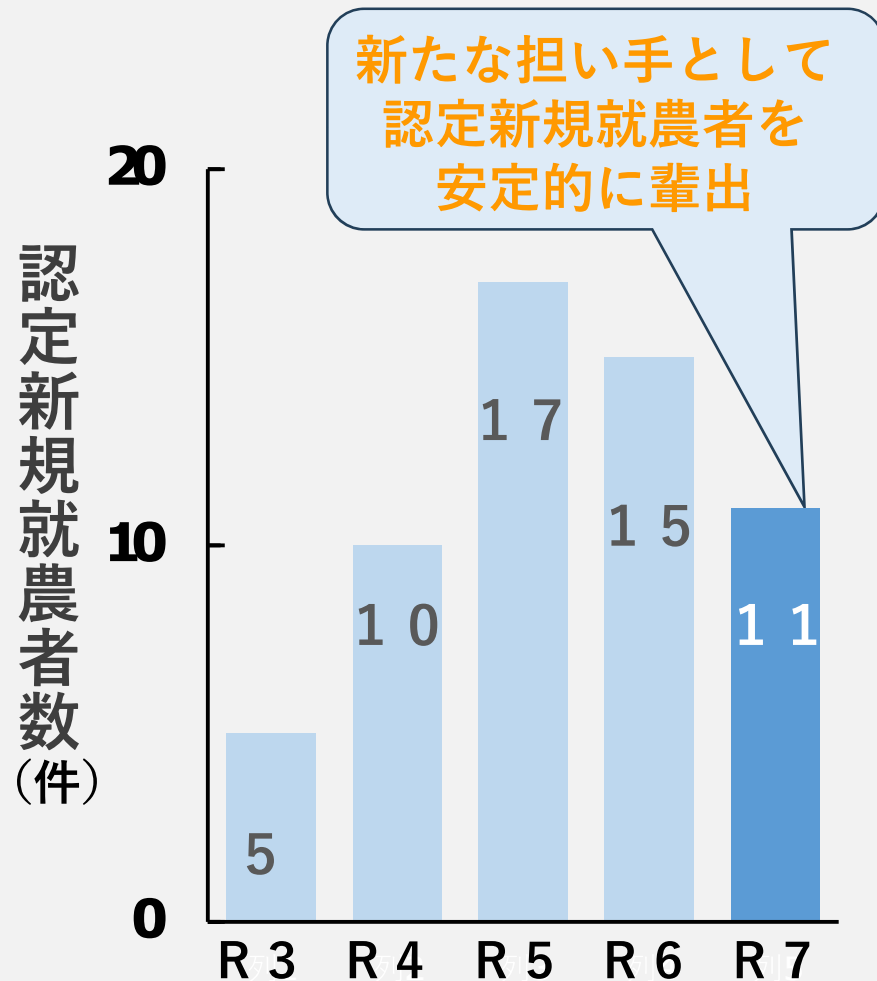
##### ■認定区分（参考）

- 青年等就農計画　：**認定新規就農者**（新規就農者対象）
- 農業経営改善計画　：**認定農業者**

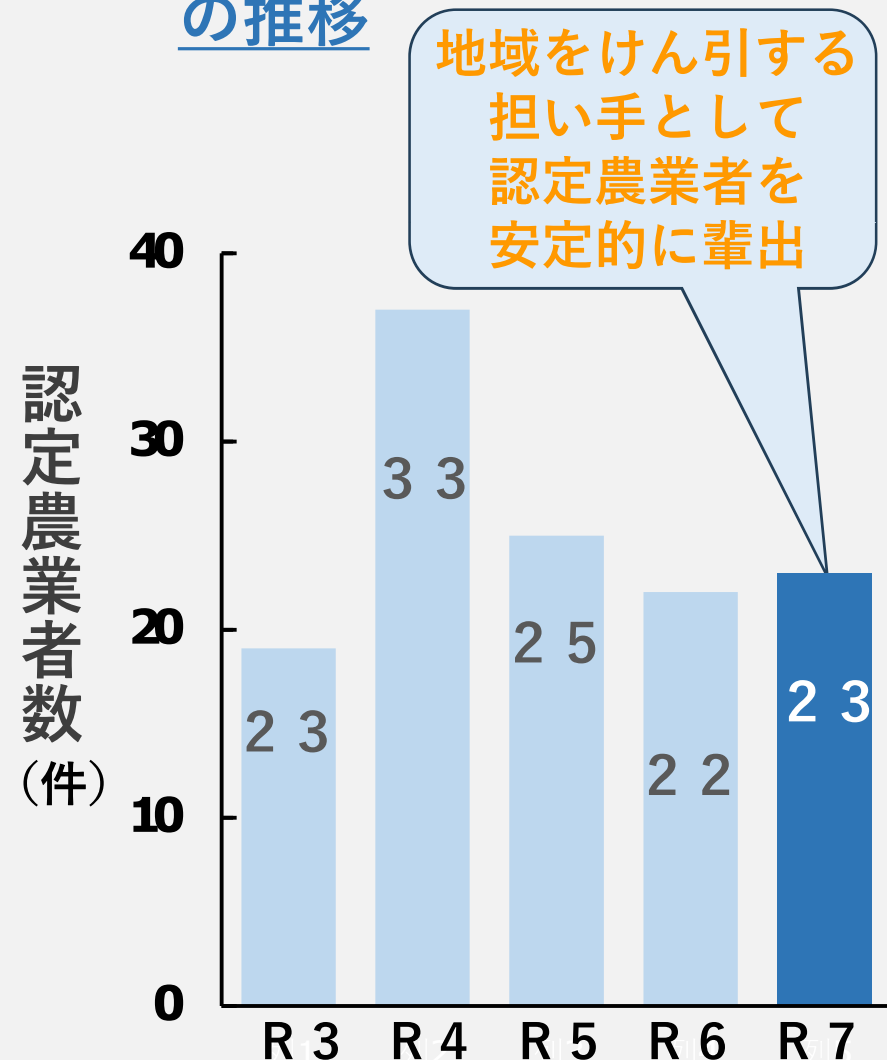
## 2. 活動内容（計画の認定数）



### 認定新規就農数 の推移



### 認定農業者数（新規） の推移



## 2. 活動内容（農業法人）

### 農業法人の参入・設立支援による担い手の確保と経営発展

#### 他業種からの農業参入を支援

○法人参入により、新たな担い手を確保

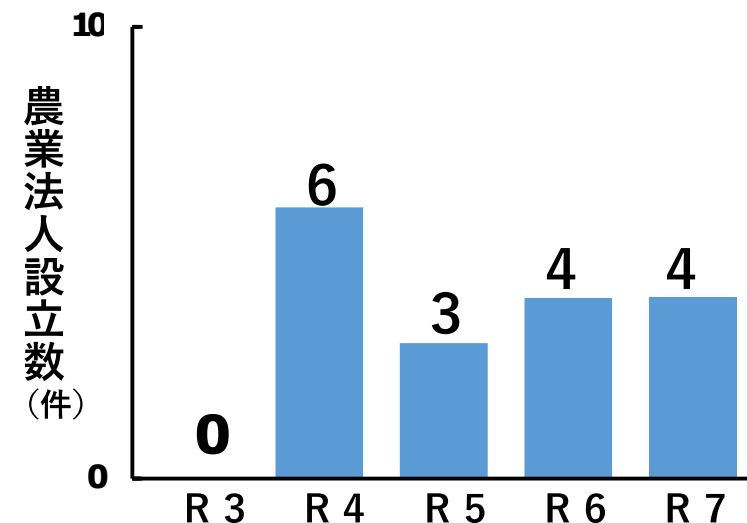
#### 農業法人への移行（設立）をサポート

○経営安定・発展を目的とした農業法人設立を支援  
→地域をけん引する経営体を育成



#### 農業法人設立数の推移

○農業参入を目的とした法人や  
大規模化を目指すための法人化等、  
多様な担い手が増加



# 3. 活動成果（定着状況）

## 地域一体で切り拓いた、新規就農者の定着と成長



### 3. 活動成果（今後について）

○農業者としての成長（スキルアップ）

○地域リーダーへの育成（キャリアアップ）

○事業継承の支援（親子継承・第三者継承）

将来の目標

持続可能な農業・輝く県南地域

新規就農者

認定農業者

産地を担う  
躍動する農業者

地域計画の実現

農業・農村  
発展





ご清聴ありがとうございました。

新規就農者交流会「**R7**福島県農業賞」受賞 吉祥菜園への視察



## 外部評価会説明概要整理表

## 県南農林事務所農業振興普及部

実施課題名(計画②)	県南地域の農業を支える多様な担い手の育成 (未来を担うひとづくり)
普及指導事項(計画⑩)	1. 認定農業者の確保・育成、2. 新規就農者の確保・育成、3. 農業法人の確保・育成
対象(計画⑪)	1. 認定農業者・認定志向農業者、2. 就農希望者・新規就農者、3. 農業法人・法人化志向農業者
課題設定の背景(計画⑥)	県南地域では担い手不足が深刻化しており、地域農業の維持・発展には、次代を担う認定新規就農者や、地域をけん引する認定農業者や農業法人など、多様な担い手の確保・育成が必要である。
普及指導活動のねらい(計画⑦)	共通の課題を有する関係機関が一体となり、情報共有を図りながら、効果的かつ効果的な支援を目的としたサポート体制を構築する。
前年度までの活動経過(計画⑧)及び残された課題(計画⑨)	各関係機関を構成員とする「県南地域新規就農者等担い手確保・育成連携協議会」を設置し、関係機関との連携のもと、担い手の確保・育成に向けた取組を推進している。また、認定研修機関の設立支援を通じて、研修体制の整備を図った。今後は、就農支援体制を強化するとともに、円滑な事業継承を支援することにより、産地の維持・発展を図る必要がある。

成果測定事項(計画⑫⑬)	R6 (基準)	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	目標	14	14	14	14	14	14
新規認定農業者数	実績	31	23				
	目標	40	40	40	41	42	43
新規就農者数	実績	36	44				
	目標	8	8	8	9	10	11
認定新規就農者の新規認定数	実績	15	11				
	目標	3	4	4	3	4	4
新規農業法人設立数	実績	4	4				
	目標						

活動内容	<p>1. 認定農業者の確保・育成 認定農業者には経営改善の状況把握や次期計画の策定を支援し、認定志向農業者には制度の説明を行うことで新規認定を促進した。</p> <p>2. 新規就農者の確保・育成 新規就農者の確保・育成に向けて、就農希望者への相談対応や相談会の開催を行うとともに、認定新規就農者には巡回指導やサポートチームによる支援を実施した。</p> <p>3. 農業法人の確保・育成 農業法人には要望に応じて経営状況の把握・補助事業の紹介等の経営支援を行い、企業参入・法人化希望者には個別相談を実施した。</p>
------	--

活動成果	<p>1. 認定農業者の確保・育成 認定農業者数は、年度の目標を上回る23経営体を認定した。</p> <p>2. 新規就農者の確保・育成 新規就農者数は、年度目標を上回る44人であった。認定新規就農者数は、11経営体について認定した。</p> <p>3. 農業法人の確保・育成 新規農業法人数は、4件の設立を確認した。</p>
------	---